

地域住民との連携による農空間保全

R3年度新規地区

おかもと 岡本地区農空間保全協議会（泉佐野市）

- 岡本地区は、市の南西部に位置する市街化区域を含む平坦部であり、野菜栽培が盛んである。水稻とともにキャベツ・ブロッコリー やほうれん草等の栽培が行われている。
- 令和3年度に岡本地区農空間保全協議会を設立し、水利組合、近隣中学校及び町会等自治会が連携し、地域資源の保全を図っている。

活動開始前の状況や課題

- 各地区の水利役員等が中心となって、水路等の農業用施設の維持管理に努めてきたが、後継者不足による高齢化等により負担が増大し、持続的な農地・農業用施設の管理が課題となっている。
- 農業用施設の老朽化が進み、施設の補修・長寿命化が課題。



取組内容

- ため池や水路の草刈り、水路浚渫、農道補修等を交付金を活用して実施し、施設の維持管理、長寿命化を図っている。
- 地域の消防団や町会、中学校等と連携して水路の泥上げ等を実施し、積極的に地域住民との交流を図っている。



【地区概要】

取組面積	15.00ha	[田15.00ha 畑0.00ha]
農業用施設	開水路 4.2km 農道 1.3km	ため池 1箇所
主な構成員	水利組合、中学校、町会等	
交付金	450千円	

取組の効果

- 水利組合が中心となって施設の点検や補修を行い、計画的に農業用施設の保全管理が実施出来ている。
- 消防団や町会、中学校と連携して維持管理活動を行うことにより、非農業者への普及・啓発が図られている。

